
俺達の日常

津田花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺達の日常

【コード】

N0989D

【作者名】

津田花

【あらすじ】

お前に俺達は何者か分かるか？まあ、分かりたくも無いだろうが……。

（前書き）

私の今日の出来事をあいつらの目線で書いてみました（＾－＾）づ
すべて台詞のみです。

ジャンル設定に困ったのでその他にしておきました。

どうでもいい情報ですね（´・`）＝

「うーっす。」

「芥川？ユー昨日と比べてえらく離れてるネ？」

「ああ。昨日奴が腹に蹴り入れやがった！」

「ご主人様に向かつて”奴”とは失礼ですよ！」

「うるせえチビ。名前もらってるからっていい気になるなよ。」

「チビじゃない！！徹てつです！芥川さんこそ名前もらってるじゃないですか？」

「うるせえー！」

「まあまあ。」

「まあまあ。」

「白いのと黒いのは黙もくってるー！」

「ほっておケ。どうせ枕レベルのやつらダ。」

「ああ。」

「……。」

「それより、今日のマスターは朝食から戻るのが遅いな。」

「今日は祝日ですしね。」

「そうです。」

「そうです。」

「あ、マスターが来タ。」

「……。」

「相変わらずテンション低い奴だな。」

「よし。」

「なにが”よし”だ。」

「失礼ですよ。」

「あ、出て行っタ。」

「お出かけなさるんですかね？」

「またきた。」

「またきた。」

「何か持つてル。」

「ヤバい!!」

「何がです？」

「掃除だ。」

「ヒイ!!!!!!!!」

「ヤバい!!ヤバいぞ。本格的に綺麗にしてやがる。」

「来ました!!」

「オウ……可愛いそう。」

「行っちゃった。」

「行っちゃった。」

「出始めはクマが。あいつは幸せだな。」

「年中寝てますしね。」

「ああ。」

「シャラップ!!今何か聞こえませんでしたか?」

「は?」

「グフッ!!」

「ヒイ!!!!!!」

「戻ってきた。」

「戻ってきた。」

「次は……」

「どうせなら先にしてくれ!!」

「無駄ですよ。」

「マスターの耳にはミィたちの声は届かない。」

「わかってら!!今は神に言ったんだ!」

「助けて。」

「助けて。」

「いくら白いのと黒いのも、かわいそうです。」

「どうせ全員やるんだ。ミーたちも時間の問題だ。」

「戻ってきた。」

「次は……」

「ミー？」

「私達ですか。」

「行ってこい。」

「はあ。待つってのはかえって拷問だな。」

「来やがった!!」

「よし最後。」

「くっ!!この綿の体が動けば……!!……蹴りの仕返しをっ!!」

「ああ、ついに窓に來ちまった。」

「芥川さん。頑張って……下さい。私達はまだ……。」

「徹っ!!お前、本当はいい奴っ……痛てっ!!……グフッ!!……
ぐわぁっ!!……うおっ!!……何でっ……毎回っ……そのぼっ
……その棒っ……なんだよっ……ガハッ!!……」

「見るのも痛いナ。」

「はい。」

「痛かったね。」

「痛かったね。」

「ぐはっ！！……ガハッ！！……もうっ……いいっ……だろっ！！……
うおっ！！……だはっ！！……」

「長いネ？」

「はい……。」

「何でっ……俺だけっ？……」

「一番始めに買ったからじゃ無いっすか？」

「俺はっ……UFOっ……キャチャーっ……だっ。」

「ミーはオーストラリアの衝動買いサ。」

「私は……言いたくないですね。」

「ぐはっ!!……ぐわぁっ!!」

「ふう。やっと終わったぜ。」

「綺麗にして頂けるのはありがたいですが、こつも不定期ですと、予測しずらくて困ります。」

「イエス。」

「納得。」

「納得。」

「どうせ今日も休みだからって、ダラダラするんだろっな。」

「掃除も終わりましたしね。」

「目に見えてル。」

「
ダ
ラ
ダ
ラ。
」

「
ダ
ラ
ダ
ラ。
」

（後書き）

お疲れさまです。

ありがとうございました（＾Ｏ＾）

台詞だけって難しいですね（――）・・・

あいつらが誰か分りましたか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0989d/>

俺達の日常

2010年10月21日06時33分発行